

【説明資料】

令和6年 降下訓練始めについて

令和5年12月
防衛省

令和6年 降下訓練始めについて

目的

年頭行事として降下展示等を実施し、1年の降下安全を祈願するため行うものです。

(沿革：昭和44年、習志野演習場（習武台）において、その年の降下訓練の安全を祈る「開傘祈願祭」として始めた部内行事を昭和49年に「降下訓練始め」として一般公開を開始したものです。令和3、4年は新型コロナウイルス感染症対策の観点から一般公開は行いませんでしたが、令和5年は一般公開を実施しました。)

実施場所

降下場所は、習志野演習場（千葉県）の使用を予定しています。この他、陸上自衛隊第1空挺団の隊員、米軍人等を自衛隊機等に搭乗させるため、航空自衛隊入間基地（埼玉県）及び米軍横田基地（東京都）を使用することを予定しています。

実施日

令和6年1月7日（日）の実施を予定しています。

行事の内容

- 指揮官等降下展示：空挺団、米軍等の指揮官等が航空機から降下する様子を展示
- 空挺降下展示：日米の航空機から、空挺団隊員等の降下
- ヘリボン展示：陸自ヘリコプターによる空中機動を含む島嶼防衛を想定した部隊行動の様子を展示
- 飛行展示：行事に参加した航空機が飛行する様子を展示

参加部隊等

日側：陸上自衛隊第1空挺団、第1ヘリコプター団、機甲共同連隊等、航空自衛隊航空支援集団

米軍：第11空挺師団（約20名）、第82空挺師団（約15名）、第1特殊部隊群（約5名）、
米国海兵隊第3海兵遠征軍（約5名）

英軍：第16空中強襲旅団（約20名） 加軍：特殊作戦群司令部及び陸軍高等訓練センター（約20名）

独軍：即応軍師団（約15名） 蘭軍：第11空中強襲旅団（約10名）

仏軍：第11落下傘旅団（約10名） 尼軍：第18歩兵旅団（約5名）

令和6年 降下訓練始めについて

降下訓練始めのイメージ



空自機は、入間基地～習志野演習場～入間基地の経路で飛行します。
米空軍機は、米軍横田基地～習志野演習場～米軍横田基地の経路で飛行します。
また、そのほか陸自のヘリコプターは木更津駐屯地及び立川駐屯地から習志野演習場に飛来し、所属駐屯地・基地等に戻ります。

令和6年 降下訓練始めについて

◆ 行事のイメージ（習志野演習場）



指揮官等降下展示

10:15~11:00頃



ヘリボン展示

11:05~12:00頃



空挺降下展示

11:55~12:05頃



飛行展示

12:10~12:15頃

その他

- 陸上自衛隊第一空挺団のHPにて11月30日に行事の実施概要について公表しました。
- 本行事の様子について、動画のライブ配信を行う予定です。
- 本行事の実施にあたっては、安全管理を徹底し、周辺住民の皆様の生活に影響を及ぼさないよう、配慮いたします。